



大学に入らうなるとおかしなものみ魅力あふれる福岡を身に学するためで、二三十分の道のりに感じ学ぶことが重要な友人は熊本人は勉強に上京した。では物足りなくなる。十に思えるからだ。都市高時のこと、三年ぶりに熊本に居を構築や地下鉄による都市交通のこと、初めて故郷を離れ、大月少なくとも一回は福岡に行き刺激を受けようど内心蓄つたものだ。それが不思議なことに熊本でアビルなどのファッショナルな商業ゾーン、広い通り変化のあるウォーターフロント、リゾートなどと追い抜いていく。また、国電、今でいうJR山手線などのスピードが熊本市電とは比較にならないほど早い。同じ電車でこうも違うとは想像すらできなかつた。上京初日から地方と首都東京のスピード感の違いをさまざまと見せつけられた。

一時間半弱で行ける福岡が遠く感じられて仕方なかし、郷土愛が企業人のくなつた。今やこの時間距離をいかに克服するか行動力を奪うのならば問題だ。行動力は生きた情報。一橋大学商学部卒業をもたらし、時代感覚日本興業銀行勤務を経て、現在亀井通産代表取締役社長。熊本市在住。

地方と都会の時間感覚

亀井 創太郎

福岡への時間距離を短く感じるが長く感じるかといふこと。今のところ残念実、まるでおもちゃ箱をひっくり返したような面白がった。わが街わが故郷に愛着いるに違いないという事実である。

△かめい・創太郎

かめい・創太郎

一九五〇年熊本市生まれ。一橋大学商学部卒業をもたらし、時代感覚日本興業銀行勤務を経て、現在亀井通産代表取締役社長。熊本市在住。